

# 家庭学習の手びき

小学校5・6年生

## 1 めざす子どもの姿

「先生や親・家族をたよらず、自分で計画を立て、自分から進んで学習を進める力」をつけていきましょう！

学習時間のめやす

60分

## 2 学習を支える基盤

### (1) 「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

家庭学習の習慣をつけるには、まず『基本的な生活習慣』を身につけることが大切です。早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べ、生活のリズムを整えていきたいものです。

あわせて、身の回りのことは自分ですること、手伝いなど家庭での役割をもち、家庭の一員として家庭科などの学習を生かす機会を設けることなどについても、十分配慮してください。



### (2) この頃の「育ち」の理解

自ら学ぼうという姿勢がみられるようになってきます。自己主張がはっきりできるようになり、時として大人への反抗も見られますが、大人の自分への評価がとても気になる頃でもあります。主体的に取り組もうとする姿を見守るとともに、意欲や趣味・関心が持続できるように励ましたり、アドバイスをしたりしていくことが大切です。

### (3) ご家庭で大切にしたいこと

#### ① ていねいな宿題と自主的な取り組み

この段階では「主体的に家庭学習を進められるようになる」ことが望まれます。まず、宿題をていねい、また確実にやり、時間に余裕があれば“自主的な学習”を進められるとよいでしょう。自主的な学習としては、自分の苦手な部分を克服する学習、また疑問をもった内容を追究する発展的な学習に取り組みながら、生活の中のあらゆる場面で学ぼうとする姿勢をつけていきたいものです。

#### ② 学習する時間や場の取り決め

主体的な家庭学習を進めるには、学習に費やす時間を決め、できるだけ毎日同じ時間帯になるように“習慣化する”ことが必要です。そのために、親子で十分に話し合っって無理のないように決めましょう。また、学習に集中できるように身の周りを整理・整頓させるとともに、テレビやゲームなど、学習の妨げになるもののスイッチを切ることも必要です。その意味で、取り決めた約束を自分のものにする、約束を守り実行することの喜びを、たくさん味あわせたいものです。

#### ③ 見届けと励ましによる支え

子どもは、ほめたり励ましたりすることで、学習に対する意欲が増します。学習したことに目を通したり、声をかけたりする機会をときどき設け、できたことを認めて「やればできる」という気持ちや自尊心を育てていけるように配慮してください。また、子どもの自主性を大切にしながらも任せきりにすることなく、教科書や持ち物など、子どもの様子をとときどき確認していくことも必要です。



### 3 家庭学習のポイント

#### (1) 宿題がどんな学習になっているか、見てあげてください。

- ・音読は、間を取ったり、抑揚をつけたり、情景を想像しながら読む。
- ・漢字練習では、はね・はらい・とめ、書き順を含めていねいに書く。
- ・日記はあったことだけでなく、第三者の登場や感想なども含め書く。
- ・計算や解答の過程や考えの流れを、図や表で見てわかるように書く。
- ・答え合わせをして、間違えたものは消さずに赤ペンなどでやり直す。



#### (2) 時間に余裕があったら勧めてください。生活場面でもこんな工夫をしてみましょう。

- ・新聞や教科書を書き写す。習った漢字やことばを用いて短文や詩、俳句を作る。
- ・国語辞典や漢和辞典、日本地図や世界地図を身近に置き、ニュースを見たり、新聞を読んだりして、これらに関連した内容の調べ学習をする。
- ・例えば、長野県総合教育センターのHPのクリア問題やチャレンジ問題などを解く。  
<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/khouhou/index.htm>
- ・日常の中で数量についての感覚を養う。(物の重さをあてる、買い物で概算するなど)
- ・素敵だな、大事だな・・・と思ったことを自主ノートにメモ(一日の生活の中での会話、自然を見たり、ニュースを聞いたりして)したり、食事や団らんの際に話したりする。

#### (3) 最終的に、5学年で身につけたい力 . . . ふんばりどころだ！5年生

- ・配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・今まで習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- ・小数のかけ算、わり算ができる。分母が同じ分数のかけ算、わり算ができる。百分率を使った問題を解くことができる。
- ・パソコンで、ローマ字が入力できる。



#### (4) 最終的に、6学年で身につけたい力 . . . 中学へ希望を待てる6年生

- ・小学校で習得すべき漢字が読め、8割以上の漢字が読める。
- ・小学校で習う漢字を使った熟語の8割以上が正しく書ける。
- ・歴史に残る古文のいくつかを暗唱できる。
- ・分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。
- ・歴史上の人物や出来事について、おおまかな説明ができる。重要な年号を30程度覚える。
- ・日本国憲法の前文を暗唱できる。三権分立など社会用語のたいがい説明できる。
- ・日本や世界の国々の主な位置を、正しく示すことができる。
- ・理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- ・パソコンで、速くローマ字入力できる。



中学校に入ると、これまでの宿題中心の学習から、より自主学習中心の家庭学習に変わっていきます。さらに、部活動などもあり、学習時間も制限されていきます。

そのような環境にスムーズに入っていくためには、小学校5・6年の時期に、時間を決めて計画的に家庭学習を進めること、自分で進める学習の習慣を身につけていくことが大切です。中学校に向けての希望を育てるとともに、中学校生活に対する決意を育んでいってください。